

▶ スコアボード ◀

第42回横浜少年サッカー大会 (市長杯)
 開会式 1月7日(土)10:00 横浜スタジアム
 YFA新春サッカーフェスティバル
 1月9日(祝・月) 横浜スタジアム
 8:50~ ガールズサッカー教室
 10:35~ 親子サッカー教室
 11:40~ 横浜選抜U16A-横浜選抜U16B
 13:25~ 社会人ワイルドレブズ横浜VIENTO
 14:50~ 中体連選抜-横浜ジュニアユース選抜



発行 一般社団法人横浜サッカー協会
 編集 同 広報委員会
 〒222-0033
 横浜市港北区新横浜2-6-3
 DSM新横浜7F
 TEL(045)474-4315 FAX474-4316
 http://www.yokohama-fa.or.jp
 印刷 神奈川新聞社
 〒231-8445 横浜市中区
 太田町2-23
 TEL227-0739 FAX227-0785

第48回 国際チビツ子サッカー大会

優勝 U-12・1部 マリノスPr 2部 大豆戸B
 U-10・1部 マリノスPr 2部 浜北谷本
 U-8 バディー



写真上はU-12・1部で優勝した横浜F・マリノスPr
 写真下はU-12・2部で優勝した大豆戸FC・B

第48回国際チビツ子サッカー大会は平成28年9月4日に開幕し、各クラスで予選リーグ、決勝トーナメントを行い、12月4日のU-10、U-12の部の決勝戦で約3か月に亘る熱戦の幕を閉じた。U-12は一昨年から実施されている、こくみん共済U-12後

期リーグと全日本少年サッカー大会中央大会出場を決める予選会を兼ねている。その結果、U-12・1部決勝戦では、横浜F・マリノスPrがあざみ野FCを2-1で倒し優勝した。また、U-12・2部では大豆戸FC・Bが白根SCとの熱戦を制し優

勝した。
 U-10・1部では横浜F・マリノスPrが、U-10・2部では浜北谷本が、U-8の部ではバディーSCが優勝した。各クラスの熱戦の結果は次の通り。
 ◎U-8の部
 ☆3位決定戦
 横浜ジュニオール 3-1 青葉FC
 ☆決定戦
 バディー2-1 あざみ野SC (延長) FC
 ◎U-10・1部

◎U-10・2部
 ☆3位決定戦
 かながわクラブ 4-1 FC
 ☆決定戦
 浜北谷本 3-0 Tips
 ◎U-12・1部
 ☆3位決定戦
 大豆戸FC 3-0 白根SC
 ◎U-12・2部
 ☆3位決定戦
 霧が丘 (KSC) C
 ☆決定戦
 大豆戸FC 3-0 白根SC
 ◎U-12・2部
 ☆3位決定戦
 霧が丘 (KSC) C
 ☆決定戦
 大豆戸FC 3-0 白根SC

◎U-12・2部
 ☆3位決定戦
 霧が丘 (KSC) C
 ☆決定戦
 大豆戸FC 3-0 白根SC
 ◎U-12・2部
 ☆3位決定戦
 霧が丘 (KSC) C
 ☆決定戦
 大豆戸FC 3-0 白根SC



D級コーチ養成講習会

少年少女サッカー指導者の養成をはかるための「日本サッカー協会公認D級コーチ養成講習会」が11月5日、6日の2日間、しんよこフットボールパーク、スポーツ医科学センターで67名の受講者が参加し行われた。

このD級講習会は、少年少女を対象にした基本的指導にあたる指導者



新春のごあいさつ
 新年あけましておめでとうございませう。
 皆様には新しい年を迎え、新年にふさわしい新たな抱負を胸に新春の門出のお祝いをされていることと存じます。毎年毎年の繰り返しになりますが、今年こそはこれのこととを希望されていることと存じます。
 一昨年末新横浜駅に近い場所に協会事務所を移転し、今日まで皆様のご協力により円滑な活動を行ってまいりました。

横浜サッカー協会 会長 **内田 渉**
 20年東京オリンピックには、横浜市の少年の中から代表選手が活躍することを望んでおります。また、その代表選手の出現により、横浜市民スポーツの一環としてサッカーがより一層盛り上がることを期待します。

ましてが、各委員会をはじめ、チームのみならずご協力により当初の予定通り事業が運営されております。関係者各位の皆様にご感謝申し上げます。また、今年度からはジュニアユース委員会を設置し、クラブ、中学校、高等学校の監督、指導者との交流を深め、技術向上のみならず、講習会等により選手の人間育成にも努めていきたいと考えております。



第3回 すずらん少女サッカー大会

一本松SCが優勝
 第3回すずらん少女サッカー大会が11月20日、玄海田運動公園で10チームが参加して行われた。
 大会は、8人制のトーナメント方式で行われた。決勝戦は2試合を勝ち抜いてきた緑ピクシーズと一本松SCガールズの戦いとなり、一本松SCガールズが2対0で緑ピクシーズを下し、優勝した。また、一回戦で敗退したチームはフレンドリー戦を行った。
 優勝：一本松SCガールズ
 準優勝：緑ピクシーズ
 第3位：青葉ガールズ、SHガールズ

の養成を目的としたもので講義と実技の講習が行われた。講義では少年少女の発育発達、育成や大人との関わりなどメデイカル面のカリキュラムも受講。実技ではゲーム、テクニク、シミュレーションなどの指導が実施された。講師は神奈川県47FAインストラクターの望月選氏、和田武倫氏、伊藤昭朗氏。

ハーftime
 昨年ねんりんピックが開催された長崎を訪れました。キラシタン文化の伝来と弾圧、江戸時代の平戸・出島、幕末にはご存じ坂本竜馬や岩崎彌太郎が立ち上げた商社、「亀山社中」、明治日本の産業に貢献したトーマス・ブレック。グラバーの居住した「旧グラバー住宅」等々、見どころがいっぱいである。そうそう、長崎の食べ物といえば「カステラ」に「ちゃんぽん」が有名ですがなぜ「ちゃんぽん」という？。実は、当時の華僑たちの挨拶の慣用語から来ていました。「吃飯了嗎(チファンラマ?)」(ご飯食べましたか?)「大阪商人の儲かりましたか?」のようなもので、吃飯が福建語では「シャポン」または「セツポン」が「ちゃんぽん」と聞こえ、彼らが美味そうに食べていた「支那饅頭」と同義語なり、ついには料理名になったのではないかと、この解釈です。「ちゃんぽん」発祥の店「四海樓」で昼食後、お店の前の坂道を上って大浦天主堂の正面に、さらに、右隣のグラバー住宅へと足を進めました。ちなみに、先の説は「四海樓」の4代目の解説だそう。

横浜シニアが健闘 ねんりんピック長崎



現在、28年度の60歳以上のメンバーで構成されているチームのリーグ戦は横浜シニアアマスターズと並行して展開され終盤を迎えております。昨年10月に長崎県で開催された第29回全国健康福祉祭なごさき大会（ねんりんピック長崎）



横浜シニア（2016）には政令都市・横浜市から前年度1位・2位のチームメンバーを主として名称は「横浜シニア60」で横浜市の代表として参加してました。



市代表の主戦場は島原市平崎の天然芝3面の多目的広場と人工芝2面の市営グラウンドを利用して行われました。横浜市はDグループで、三重県・大分県・岩手県の各

代表チームとの試合でした。第一目の第一戦、大分代表との対戦では前半はゴール前まで幾度となく押し込めるが得点を奪えず前半終了、後半15分に左からのセンターリングに中川原選手が合わせて得点すると、残り時間を上手く使いそのまま試合終了。続く第二戦の三重代表との試合はキックオフから互いに攻防、激しく乱打戦模様だったが前・後半ともに互いにゴールキーパーの巧守で得点を阻まれ無得点で終了かと思いきや終盤、三重チームの右からのコーナーキックに於いて、相手の長身選手のヘッドしたボールを横浜の選手が弾き返したかに見えたが頭をかすめたボールはゴールに吸い込まれ失点、その後、再三、相手ゴールに迫るも得点ならず時間切れとなった。

二日目の第三戦は岩手代表戦で、前半立ち上がり5分に得点を献上し苦しい展開となったが、後半終了間際に左サイドからゴール前にシュート気味に蹴りこんだボールがゴールキーパーのハンドルを誘い、これをゴール前に詰めていたフォワード選手（中川原）がゴールインして同点に追いつきその結果、Dグループの2位を確保した。

写真右、健闘した横浜シニア60。写真上、ゴール前の熱戦。写真左、普賢岳を背にサッカー選手に扮した坂本龍馬像。

優勝 緑ピクシーズ 第24回カトレア杯少女大会



2016年度NHK杯8人制少年サッカー大会兼県大会横浜予選（NHK横浜放送局、横浜サッカー協会共催）が、10月29日、30日の2日間にかたり、しんよこフットボールパークで行われた。

この大会は18区の5年生の代表チームによる8人制の大

バディーSCが制覇 NHK杯8人制大会



優勝、準優勝と輝かしい成績を納めた横浜トレセンA、Bの両選手（横浜スタジアム）

2016年度NHK杯8人制少年サッカー大会兼県大会横浜予選（NHK横浜放送局、横浜サッカー協会共催）が、10月29日、30日の2日間にかたり、しんよこフットボールパークで行われた。

この大会は18区の5年生の代表チームによる8人制の大

優勝：横浜トレセンA 準優勝：横浜トレセンB 第29回横浜招待少年サッカー大会

平成28年度・第24回カトレア杯少女サッカー大会が9月18日、玄海田運動公園で9チームが参加して行われた。



結果、決勝戦はバディーSC対横浜F・マリノスPrでバディーSCがPK戦となる接戦を制し、3位決定戦はFC本郷対YSCCでFC本郷が勝利した。

総合順位は次の通り。
優勝：バディーSC（南区）
準優勝：横浜F・マリノスPr（前年度1位）
3位：FC本郷（栄区）
4位：YSCC（中区）

大会は、トーナメント方式で行われた。勝ち上がってきた緑ピクシーズと横浜ウィンズで決勝戦が行われ、緑ピクシーズが横浜ウィンズを4対0で下した。また、一回戦で敗退したチームはフレンドリー戦で交流試合を行った。

主将 西村 萌
たてに早いサッカーがからできて、得点を取れたの

法人会員一覧	
横浜マリノス(株)	JFE東日本ジーエス(株)
神奈川新聞社	(有) マルイシエ芸
(株) 横浜シミズ	(株) 横浜アーチスト
横浜食品開発(株)	(有) フリースタイル
	富士ゼロックス神奈川(株)

第42回横浜少年サッカー大会（市長杯）は、1月7日（土）に横浜スタジアムで行われる。開会式からスタートとする。今大会には164チームが参加、トーナメントによる頂点をめざした熱い戦いが繰り広げられる。

第42回 横浜少年サッカー大会

1月7日、横浜スタジアムで開会式
164チームが参加

が良かったと思う。試合を重ねるたびにパスの精度やチーム全体に意識も上がり一番良い雰囲気だ決勝へ臨み、優勝できたのは良かったと思う。